

住宅事情からみる地域の課題等について＜谷津圏域(船橋市隣接:埋め立て側)＞

	困りごと	住民同士の関係性	町会等の関係性	支援者	課題等
戸建て	●足が弱くなり階段昇降が出来なくなった ●庭の手入れができなくなった ●部屋の掃除が行き届かない ●戸締りが大変	●挨拶程度の付き合いの方が多い(班、または両隣程度) ●古くからの居住者には親しくしている方もいる ●新しく越してきた方や若い世代との交流は少ない	●以前は活発な活動(祭りや子供会等)もあったが、現在は参加者も少なく高齢化している ●町会の役員は同じメンバーがやっている ●圏域内でも活動が多い町会と全く活動しない町会がある ●避難訓練は行っているところが多い	●2世帯住居にしている場合もあるが、高齢者世帯や独居が多い ●2世帯、独身の子供が同居の場合は、夜間緊急時の支援者はいる ●近所の助け合いは個人の付き合いの深さによる ●民生委員、高齢者相談員の見守りがある	●庭木の手入れができなくなり荒れてしまうと防犯上の不安がある ●空き家のままになっている ●町会の存続 役員のなり手がいない ●世代が変わってつきあいが減っている ●本人の状況に合った住宅の環境整備が必要
公営住宅 (市営・県営)					
UR	●1 階に数段の階段があり車いすや歩行器に向かない ●エレベーターの止まらない階がある(分譲棟) ●団地内に知り合いがいない ●公民館も谷津 CC も遠い ●棟によっては買物する場所が遠い(ららぽーとの買物バスが廃止になった)	●団地内に友人がいる方もいるが、住民同士の関わりは少ない(賃貸棟) ●分譲棟は街区ごとに理事会があり繋がりがあがるが、皆、高齢化しており行事はない	●町会なし	●民生委員、高齢者相談員 ●生活支援アドバイザー	●町会もなく転入、転出も多いため住民同士の関係が希薄。特に賃貸棟 ●保証人がなくても入居できるため、家族と疎遠な方、身寄りのない方も多い ●いざという時のキーパーソンがいない ●分譲でエレベーターが止まらない階は車いすや歩行器になったら居住が難しい
大型 マンション (新しい)	●転居してきたため近所に知り合いがいない ●セキュリティが厳重で、出かけるのが億劫になる ●マンションの道が強風で転倒が怖い	●若い世代が多く高齢者の住民同士のつながりはほぼない ●マンション内にサークルがあり一部の方が利用している	●町会なし ●民間の管理会社が町会の役割を担っている	●民生委員、高齢者相談員	●セキュリティが厳重でプライバシーに配慮されており、町会もないので地域との繋がりは薄い ●転入者は近隣に知り合いがおらず、孤立してしまう
その他の マンション	●5階建てでエレベーターのないマンションの居住者は足腰が弱り階段昇降が困難になると、外出が難しくなる ●当初から住んでいた方が少なくなっている ●歩行器を置くところがない	●挨拶程度の付き合いの方が多い ●古くからの居住者は親しくしている方もいる ●高齢化率が高い	●マンションに自治会があるところもある ●高齢化して担い手もいない	●古くからのつながりのある住民 ●民生委員、高齢者相談員	●エレベーターのないマンションは外出困難になると、住み続けるのが難しい ●通院、買い物、ごみ捨てなどに人の手が必要になる ●空き家が増えている